

しば子先生の

ミ

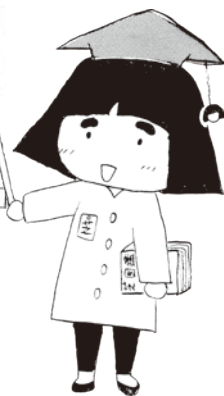
ニ

ミ

ニ

芝生教室

第68回 悪い？ (3)



先生：さて化成肥料の中身について詳しく説明してきたけどよくわかったかしら？

生徒：はい、低度の化成肥料には芝生に特に必要な窒素 (N) やカリ (K) よりも中量要素の硫黄 (S)、そして増量剤の粘土鉱物が多く、必要なものが少なくても不要なものが多い中身であることがわかりました・・・

先生：そうね・・・価格が安いからと言った理由だけで選んでいては肥料の効果が無いだけでなく土壌も悪くしてしまうことになる・・・

悪くなった土壌と養分不足は芝生に多くのダメージを与え、それを修正するために多量の予算と労力と時間が必要となる・・・まさに『安物買いの銭失い』・・・

生徒：知らないということとはほんとに恐ろしいことですね・・・

先生：仕事で責任がある以上「知らない」ではすまされないわ・・・

生徒：化成肥料の中身とその問題点はわかりましたけど、化成肥料を長期に連用する問題点はほかにもあるのでしょうか？

先生：そう！その連用にも問題があるのよ・・・それを考えてみましょう・・・

生徒：連用するということは、そればかりを使うということですね・・・窒素 (N) は時間とともに脱窒、流亡していつて無くなっていくのだから連用は問題なしですね・・・

先生：そう、即効性の窒素は無くなって不足してしまうことの方が問題だから連用することに何も問題はないわね・・・

生徒：その他のリン (P) やカリ (K) はどうでしょう・・・

先生：芝生にとってリン (P) は多く必要としていないし、窒素 (N) と違って土壌の鉄 (Fe) やカルシウム (Ca) と結びついて土壌に残ってしまうわ・・・カリ (K) はある程度土壌にしながら芝生に使われていくから問題はないわね・・・

生徒：それ以外の硫黄 (S) や粘

土鉱物が過剰になる問題点は？

先生：硫黄 (S) が増えてもすぐに問題が出るわけではないけど、他の養分の吸収に悪影響が出るのでバランスを崩すのはいいことではないわ・・・もちろん粘土鉱物は土壌の排水性を悪くしてしまうのでスポーツターフの芝生

土壌には厳禁だわ・・・でも実はそれ以外にも問題があるわ・・・

生徒：えっ？！・・・化成肥料に含まれているのはそれだけでじゃないんですか？

先生：化成肥料に含まれているのはそれだけだけど、その肥料だけしか播かないということに問題があるのよ・・・

生徒：そうか・・・植物が必要としている他の養分元素が問題なんですね・・・

先生：そうよ・・・人間が化成肥料しか播かなかったとしても、芝生は必要な元素を吸収して成長に

使うことになるわ・・・そして芝生の体を作る・・・作られた芝生はどうなる？

生徒：刈り取られてしまいます！そうか！土壌中にもともとあった養分元素も芝生に吸収されてどんどん減っていく・・・だけ人間が決めた元素しか土壌に投入しない・・・それを継続していたらいつか必要な養分が減ってしまつて土壌から無くなってしまふ・・・

先生：土壌にある養分元素で作られた刈草が集草されて捨てられればどんどん土壌の養分は無くなっていくわね・・・集草しなければ土壌に刈り草が有機物として戻されるけど、刈り草が風などで飛ばされて土壌に戻らない分だけ土壌の養分元素が失われて減っていくのね・・・刈り取られた芝生の葉身に含まれる元素を調べるのは芝生の健全性を調べるための情報だけど、結果として葉身に含まれている養分元素が土壌から収奪されていくという証明でもあるのよ・・・長期間同じ肥料を使うということはその点に注意しないといけな

いわ・・・そのためにも定期的な土壌分析が必要なのよ・・・

しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・・
shibako@hugh-enterprise.co.jp

